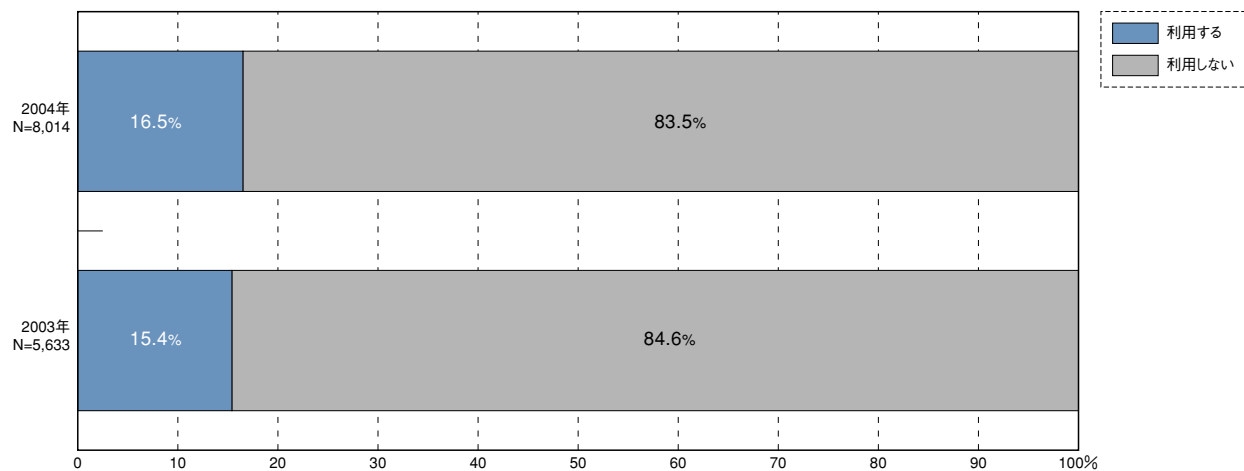


モバイルインターネット 利用動向

モバイルインターネット利用者は16.5%

資料2-2-1 外出先でのインターネット利用有無（2003年-2004年）

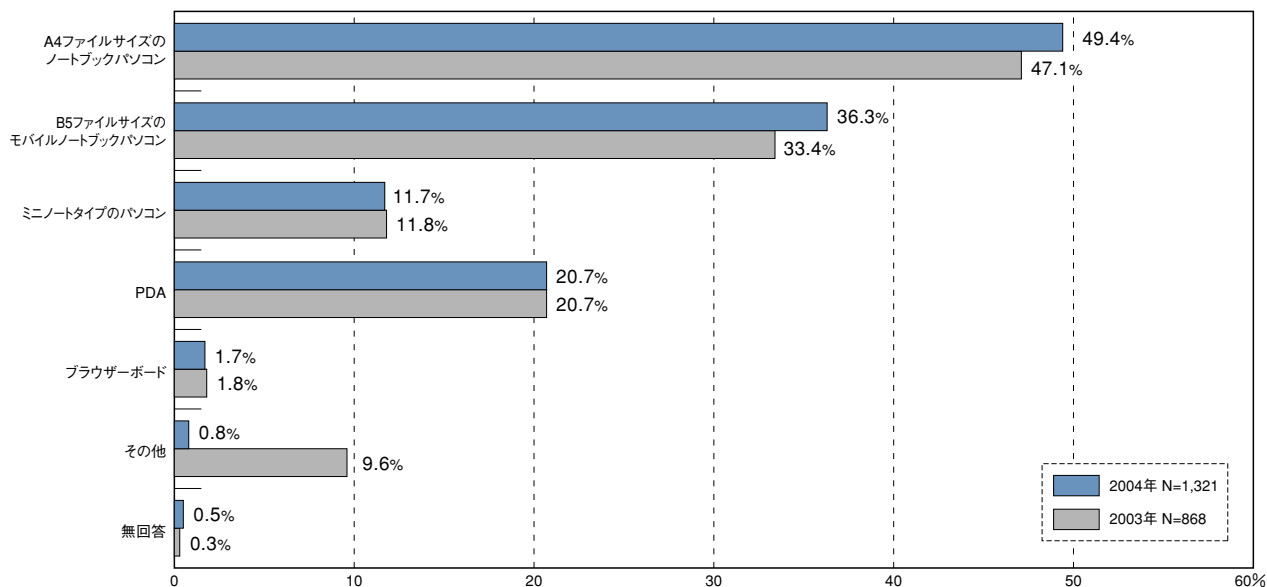


©Access Media/impress,2004

外出先で、ノートパソコン、PDAなどからインターネットを利用するいわゆるモバイル利用状況を時系列で見たグラフである。今年の利用者は16.5%で、昨年とほぼ同様の比率である。利用者の主な接続方法をクロスで見ると、「PHS本体」「通信カード」接続が圧倒的に多く、普段も外出先からインターネット接続を利用している層であることがわかる。

モバイルインターネットの機器はノートブックが主流

資料2-2-2 持ち歩いている携帯情報機器（2003年-2004年）



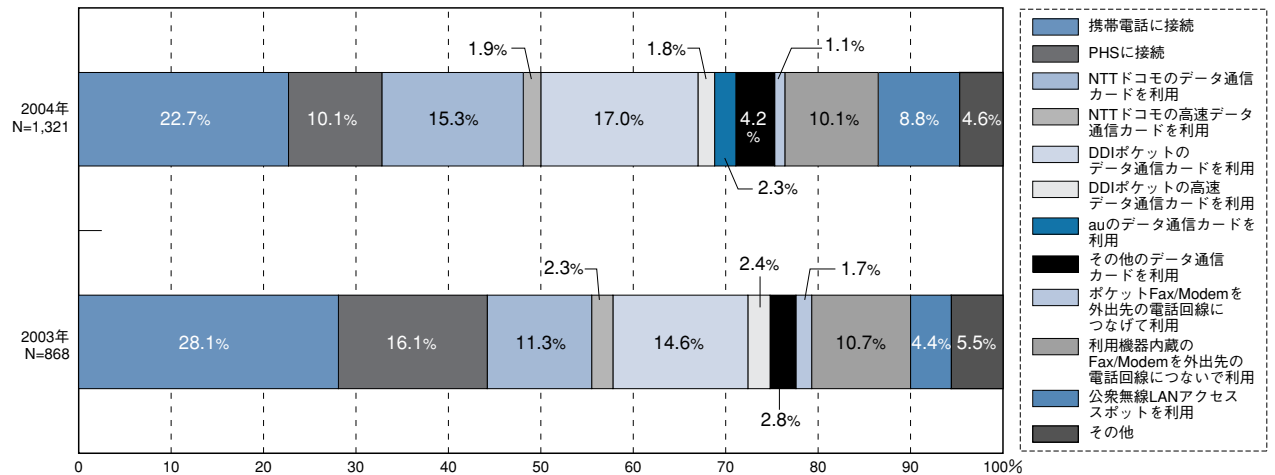
©Access Media/impress,2004

モバイルインターネット利用者1,321サンプルの利用機器について前年と比較したグラフである。全体的には、前年と同様の結果で、「A4ファイルサイズのノートブックパソコン」が最も多く、次いで「B5ファイルサイズのノートブックパソコン」の利用率が微増している。

モバイルインターネット 利用動向

モバイルでの主な回線は携帯電話からの接続が主流

資料2-2-3 モバイルインターネットの主な接続回線 (2003年-2004年)

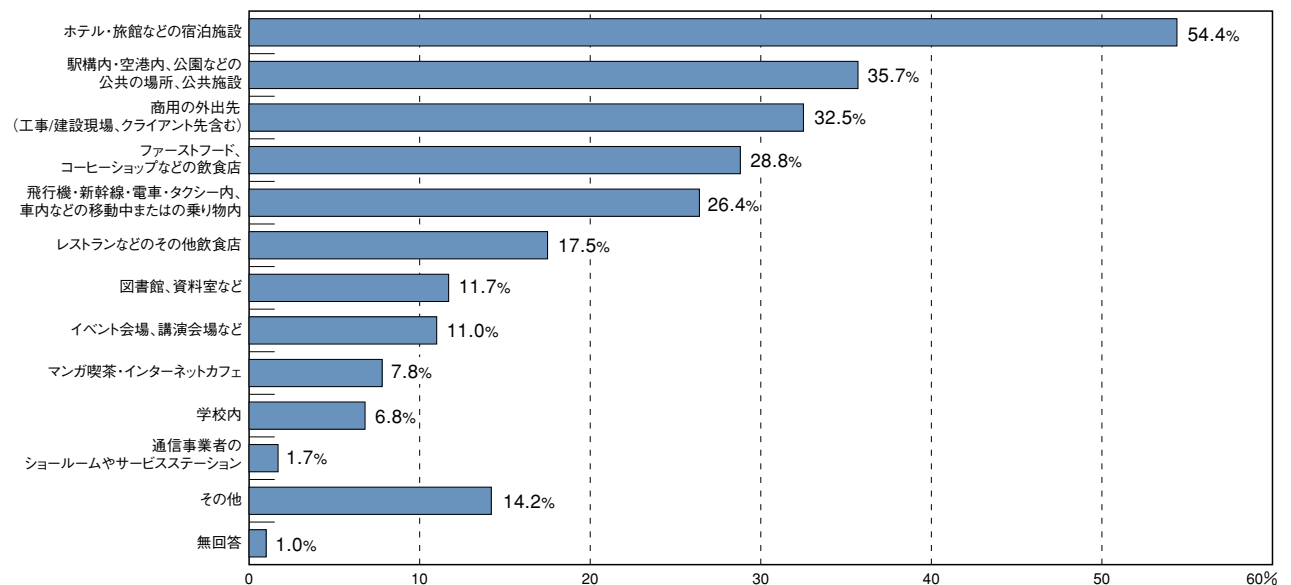


©Access Media/impress,2004

モバイル利用者1,321サンプルの主なインターネット通信回線は、「携帯電話本体への接続」が22.7%で最も高く、次いで「DDIポケットのAirH」などのデータ通信カード、「NTTドコモのデータ通信カード」(15.3%)である。機器別では、各社のデータ通信カード利用者の合算が42.6%で圧倒的に高いが、高速データカードの利用率はまだ低い。

モバイルインターネット利用場所は過半数が宿泊施設

資料2-2-4 外出先でのインターネット利用場所 N=1,321



©Access Media/impress,2004

モバイルインターネット利用場所は、「ホテル・旅館などの宿泊施設」が54.4%と最も高く、これには、固定回線に繋げるFax/Modem利用者が多く含まれる。また、公共の場所、ファーストフードなどの飲食店、移動中や乗り物内など、通信基地局や無線LANアクセススポットの増設などが影響し、昨年よりもやや利用率は増加している。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp